



## 無線テクノロジーの設定

- [チョークポイント](#)
- [Wi-Fi TDOA レシーバ](#)

### チョークポイント

チョークポイントは、低周波の送信デバイスです。配置されたチョークポイントの範囲内でタグが渡されると、低周波電磁界がタグを認識し、チョークポイント デバイス ID を含むメッセージを Cisco Unified Wireless Network 経由で送信します。送信されるメッセージには、センサー情報（温度や圧力など）が含まれます。チョークポイント ロケーション システムは、部屋レベルの精度（ベンダーによって数インチから 2 フィートまで）を提供します。

チョークポイントは、チョークポイントのベンダーによって推奨されるとおりに設置および設定されます。チョークポイントのインストールが完了して動作可能になったら、チョークポイントをロケーション データベースに入力して、Prime Infrastructure マップ上に表示できます。

#### 関連項目

- [チョークポイントの追加](#)
- [チョークポイントの編集](#)

### チョークポイントの追加

チョークポイントを追加するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [設定 (Configuration)] > [無線テクノロジー (Wireless Technologies)] > [チョークポイント (Chokepoints)] の順に選択します。
- ステップ 2 [コマンドの選択 (Select a command)] ドロップダウンリストから [チョークポイントの追加 (Add Chokepoints)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 3 チョークポイントの MAC アドレスと名前を入力します。
- ステップ 4 これが Entry/Exit チョークポイントであることを示すには、該当するチェックボックスを選択します。

- ステップ 5** チョークポイントのカバレッジ範囲を入力します。  
 チョークポイントの範囲は、視覚的な表示のみです。これは製品固有です。実際の範囲は、該当する  
 チョークポイント ベンダー ソフトウェアを使用して別個に設定する必要があります。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。  
 データベースにチョークポイントを追加したら、適切な Prime Infrastructure フロア マップに配置  
 できます。

## チョークポイントの削除

チョークポイントを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [設定 (Configuration)] > [無線テクノロジー (Wireless Technologies)] > [チョークポイント  
 (Chokepoints)] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するチョークポイントのチェックボックスを選択します。
- ステップ 3** [コマンドの選択 (Select a command)] ドロップダウン リストから、[チョークポイントの削除  
 (Remove Chokepoints)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 4** [OK] をクリックして削除を実行します。

### 関連項目

- [チョークポイントの編集](#)

## マップへのチョークポイントの追加

チョークポイントをマップに追加するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [マップ (Maps)] > [ワイヤレス マップ (Wireless Maps)] > [サイト マップ (Site Maps)] の順に選択  
 します。
- ステップ 2** チョークポイントのフロアの位置に対応するリンクをクリックします。
- ステップ 3** [コマンドの選択 (Select a command)] ドロップダウン リストから [チョークポイントの追加 (Add  
 Chokepoints)] を選択します。
- ステップ 4** [移動 (Go)] をクリックします。  
 [チョークポイントの追加 (Add Chokepoints)] 概要ページには、データベースに追加されてい  
 てもまだマップされていない、最近追加されたチョークポイントがすべて一覧表示されます。
- ステップ 5** マップ上に配置するチョークポイントの横にあるチェックボックスを選択します。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。  
 チョークポイント アイコンが左上角に配置されて、マップが表示されます。これで、マップ上に  
 チョークポイントを配置する準備ができました。
- ステップ 7** チョークポイント アイコンを左クリックし、適切な位置にドラッグして配置します。チョーク  
 ポイント アイコンを配置するためにクリックすると、選択したチョークポイントの詳細ページに  
 チョークポイントの MAC アドレス、名前、およびカバレッジ範囲が表示されます。

- ステップ 8** [保存(Save)] をクリックします。
- フロア マップに戻ると、マップ上に追加されたチョークポイントが表示されます。
- 新たに作成されたチョークポイント アイコンは、そのフロアの表示設定に応じて、マップに表示される場合と表示されない場合があります。
- チョークポイントの周囲の輪は、カバレッジ領域を示しています。CCX タグとそのアセットがカバレッジ領域内を通過すると、位置の詳細がブロードキャストされ、タグはチョークポイント カバレッジ円上に自動的にマップされます。タグがチョークポイントの範囲外に出ると、その位置は以前と同様に計算されるので、チョークポイントの輪の上にはマップされなくなります。
- マウスをマップ アイコンの上に移動すると、チョークポイントの MAC アドレス、名前、Entry/Exit チョークポイント、スタティック IP アドレス、および範囲が表示されます。
- ステップ 9** チョークポイントがマップ上に表示されない場合は、[フロア設定(Floor Settings)] メニューにある [チョークポイント(Chokepoints)] チェックボックスを選択します。
- すべてのマップに対してこの表示条件を保存しない場合には、[設定を保存する(Save Settings)] チェックボックスを選択しないでください。
- ステップ 10** チョークポイント情報を適用するには、ネットワーク設計を Mobility Services Engine またはロケーション サーバと同期する必要があります。
- 

## マップからのチョークポイントの削除

マップからチョークポイントを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [マップ(Maps)] > [ワイヤレス マップ(Wireless Maps)] > [サイト マップ(Site Maps)] の順に選択します。
- ステップ 2** [マップ(Maps)] ページで、チョークポイントのフロアの位置に対応するリンクを選択します。
- ステップ 3** [コマンドの選択(Select a command)] ドロップダウン リストから、[チョークポイントの削除(Remove Chokepoints)] を選択します。
- ステップ 4** [実行(Go)] をクリックします。
- ステップ 5** [OK] をクリックして削除を実行します。
- 

## チョークポイントの編集

現在のチョークポイントを編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [設定(Configuration)] > [無線テクノロジー(Wireless Technologies)] > [チョークポイント(Chokepoints)] の順に選択します。現在の各チョークポイントについて次の情報が表示されます。MAC アドレス、チョークポイント名、Entry/Exit チョークポイント、範囲、スタティック IP アドレス、チョークポイントのマップの位置。
- ステップ 2** 編集するチョークポイントを [MAC アドレス(MAC Address)] 列でクリックします。

ステップ 3 必要に応じて、次のパラメータを編集します。

- [名前 (Name)]
- [Entry/Exit チョークポイント (Entry/Exit Chokepoint)]: 有効にする場合にクリックします。
- [範囲 (Range)]: チョークポイントのカバレッジ範囲。  
 チョークポイントの範囲は製品固有であり、チョークポイントのベンダーにより提供されます。
- [静的 IP アドレス (Static IP Address)]

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

## Wi-Fi TDOA レシーバ

- [Wi-Fi TDOA レシーバを使用したタグ位置レポートの強化 \(23-4 ページ\)](#)
- [Wi-Fi TDOA レシーバの追加 \(23-5 ページ\)](#)
- [Wi-Fi TDOA レシーバの編集 \(23-7 ページ\)](#)

## Wi-Fi TDOA レシーバを使用したタグ位置レポートの強化

Wi-Fi TDOA レシーバは、追跡対象のタグ付き資産から送信される信号を受信するように設計された外部システムです。その後これらの信号は、資産の位置計算に役立つよう、**Mobility Services Engine** に転送されます。TDOA レシーバは、到達時間差 (TDOA) の方法を使用して、タグの位置を計算します。この方法は、最小で 3 つの TDOA レシーバからのデータを使用して、タグ付き資産の位置を生成します。



(注)

- TDOA レシーバが使用中ではなく、パートナー エンジン ソフトウェアが **Mobility Service Engine** にある場合は、タグの位置計算は、アクセス ポイントからの RSSI の読み取りを使用して生成されます。
- シスコのタグ エンジン は、アクセス ポイントからの RSSI 読み取りを使用してタグの位置を計算できます。

Cisco Unified Wireless Network 内で TDOA レシーバを使用する前に、次の手順を実行する必要があります。

1. ネットワークで **Mobility Services Engine** をアクティブにします。**Mobility Services Engine** の追加の詳細については、「[Adding MSEs to Prime Infrastructure](#)」を参照してください。
2. TDOA レシーバを **Prime Infrastructure** データベースとマップに追加します。**Prime Infrastructure** への TDOA レシーバの追加の詳細については、「[Wi-Fi TDOA レシーバの追加](#)」を参照してください。
3. **Prime Infrastructure** を使用して MSE でパートナー エンジン サービスをアクティブ化または開始します。

4. Prime Infrastructure と Mobility Services Engine を同期します。同期の詳細については、「[Synchronizing Prime Infrastructure and a Mobility Services Engine](#)」を参照してください。
5. AeroScout システム マネージャを使用して TDOA レシーバを設定します。

設定の詳細については、次の URL にある『*AeroScout Context-Aware Engine for Tags, for Cisco Mobility Services Engine User's Guide*』を参照してください。  
<http://support.aeroscout.com>

#### 関連項目

- [Wi-Fi TDOA レシーバの追加](#)
- [Wi-Fi TDOA レシーバの編集](#)
- [Wi-Fi TDOA レシーバの編集](#)

## Wi-Fi TDOA レシーバの追加

AeroScout システム マネージャによって Wi-Fi TDOA レシーバをインストールして設定し、パートナー ソフトウェアを Mobility Services Engine にダウンロードすると、TDOA レシーバを Mobility Services Engine のデータベースに追加して、Prime Infrastructure マップ上に配置することができます。

TDOA レシーバを Prime Infrastructure マップに追加した後で、Prime Infrastructure ではなく、AeroScout システム マネージャ アプリケーションを使用して TDOA レシーバに対する設定の変更を続行します。

設定オプションの詳細については、次の URL にある『*AeroScout Context-Aware Engine for Tags, for Cisco Mobility Services Engine User Guide*』を参照してください。  
<http://support.aeroscout.com>

TDOA レシーバを Prime Infrastructure データベースと適切なマップに追加するには、次の手順を実行します。

- 
- |        |   |
|--------|---|
| ステップ 1 | <p>[設定(Configuration)] &gt; [無線テクノロジー(Wireless Technologies)] &gt; [WiFi TDOA レシーバ(WiFi TDOA Receivers)] の順に選択して、[すべての WiFi TDOA レシーバ(All WiFi TDOA Receivers)] 概要ページを開きます。</p> <p>現在の WiFi TDOA レシーバの詳細を表示または編集するには、[MAC アドレス(MAC Address)] リンクをクリックして、詳細ページを開きます。</p> |
| ステップ 2 | <p>[コマンドの選択(Select a command)] ドロップダウンリストから、[WiFi TDOA レシーバの追加(Add WiFi TDOA Receivers)] を選択し、[移動(Go)] をクリックします。</p>  |
| ステップ 3 | <p>TDOA レシーバの MAC アドレス、名前、およびスタティック IP アドレスを入力します。</p>  |
| ステップ 4 | <p>[OK] をクリックして、TDOA レシーバエントリをデータベースに保存します。</p> <p>TDOA レシーバをデータベースに追加したら、適切な Prime Infrastructure フロア マップに TDOA レシーバを配置できます。</p> <p>WiFi TDOA レシーバは、レシーバ ベンダー ソフトウェアを使用して別個に設定する必要があります。</p>   |
- 

#### 関連項目

- [Wi-Fi TDOA レシーバの編集](#)

## マップへの Wi-Fi TDOA レシーバの追加

- 
- ステップ 1** マップに TDOA レシーバを追加するには、[マップ (Maps)] > [ワイヤレス マップ (Wireless Maps)] > [サイト マップ (Site Maps)] の順に選択します。
- ステップ 2** [マップ (Maps)] ページで、TDOA レシーバのフロアの位置に対応するリンクを選択します。
- ステップ 3** [コマンドの選択 (Select a command)] ドロップダウンリストから、[WiFi TDOA レシーバの追加 (Add WiFi TDOA receivers)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 4** マップに追加するには、各 TDOA レシーバの横にあるチェックボックスを選択します。
- ステップ 5** [OK] をクリックします。TDOA レシーバアイコンが左上隅に配置されて、マップが表示されます。これで、マップ上に TDOA レシーバを配置する準備ができました。
- ステップ 6** TDOA レシーバアイコンを左クリックして、フロア マップ上の適切な場所にドラッグして配置します。
- TDOA レシーバアイコンを配置のためにクリックすると、TDOA レシーバの MAC アドレスと名前が左側のペインに表示されます。
- ステップ 7** アイコンが正確にマップに配置されたら、[保存 (Save)] をクリックします。追加された TDOA レシーバがフロア ヒート マップに表示されます。
- 新たに追加された TDOA レシーバのアイコンは、そのフロアの表示設定によって、マップに表示される場合と表示されない場合があります。
- ステップ 8** TDOA レシーバがマップ上に見当たらない場合は、[レイヤ (Layers)] をクリックして、マップ上で表示できる要素の選択メニューを折りたたみます。
- ステップ 9** [WiFi TDOA レシーバ (WiFi TDOA Receivers)] チェックボックスを選択します。TDOA レシーバがマップに表示されます。
- マップ上の TDOA レシーバの上にカーソルを置くと、そのレシーバの設定の詳細が表示されます。
- ステップ 10** [レイヤ (Layers)] ページを閉じるには、[X] をクリックします。
- すべてのマップについてこの表示基準を保存する場合を除き、[レイヤ (Layers)] メニューから [設定の保存 (Save Settings)] を選択しないでください。
- ステップ 11** これで、Mobility Services Engine にパートナー エンジン ソフトウェアをダウンロードできます。
- 

### 関連項目

- [Wi-Fi TDOA レシーバを使用したタグ位置レポートの強化](#)
- [Wi-Fi TDOA レシーバの編集](#)

## Wi-Fi TDOA レシーバの編集

現在の TDOA レシーバを Prime Infrastructure データベースに表示するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [設定(Configuration)] > [無線テクノロジー(Wireless Technologies)] > [Wi-Fi TDOA レシーバ(Wi-Fi TDOA Receivers)] の順に選択して、[すべての Wi-Fi TDOA レシーバ(All Wi-Fi TDOA Receivers)] 概要ページを開きます。
- ステップ 2** [MAC アドレス(MAC Address)] リンクをクリックして、MAC アドレス、名前、およびスタティック IP アドレスを含む TDOA レシーバの詳細を表示します。
- ステップ 3** レシーバ名または IP アドレスに必要な変更を行い、[保存(Save)] をクリックしてこれらの変更を確定します。
- Wi-Fi TDOA レシーバは、レシーバベンダー ソフトウェアを使用して別個に設定する必要があります。
- 

## Wi-Fi TDOA レシーバの削除

1 つ以上の Wi-Fi TDOA レシーバを同時に削除できます。マップから TDOA レシーバを削除すると、Prime Infrastructure データベース内には残りますが、未割り当てのラベルが付けられます。

Prime Infrastructure から TDOA レシーバを削除するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [設定(Configuration)] > [無線テクノロジー(Wireless Technologies)] > [Wi-Fi TDOA レシーバ(Wi-Fi TDOA Receivers)] を選択します。
- ステップ 2** 削除する各 TDOA レシーバの横にあるチェックボックスを選択します。
- ステップ 3** [コマンドの選択(Select a command)] ドロップダウンリストから、[Wi-Fi TDOA レシーバの削除(Remove Wi-Fi TDOA Receivers)] を選択し、[移動(Go)] をクリックします。
- ステップ 4** TDOA レシーバの削除を確定するには、ダイアログボックスで [OK] をクリックします。
- [すべての Wi-Fi TDOA レシーバ(All Wi-Fi TDOA Receivers)] ページに、削除を確認するメッセージが表示されます。削除された TDOA レシーバは、ページに表示されなくなります。
-

